



鯨山1

R01.9.6 令和元年9月号①

〒327-0817 佐野市伊勢山町1534 Tel 0283-24-2887 Fax 0283-24-3565

<http://www.schoolnet-sano.ed.jp/inubushie-e/>



とちぎっ子学習状況調査 全国学力・学習状況調査

教室に子どもたちの元気な声が戻ってきました。

今年の夏も特に暑く、熱中症対策等で保護者の皆様のご理解やご協力をいただき、誠にありがとうございました。

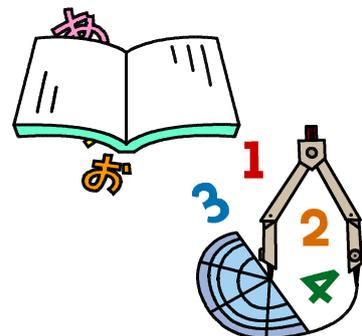
夏休み明け集会では、9～12月の主な行事や活動、各種大会について紹介するとともに、生活面での重点課題「先にあいさつ」「立腰」「黙って清掃・黙って集合」「話をよく聴く」について話しました。

ところで、栃木県では、本県児童生徒の学力向上を目指し、児童生徒の学力や学習の状況等を把握・分析し、児童生徒一人一人の課題を明確にすること、各学校が組織的に学習指導における検証改善サイクルの構築と運用に取り組むことを目的として、4・5年生を対象に「とちぎっ子学習状況調査」を実施しています。また、全国では6年生を対象に「全国学力・学習状況調査」を実施しています。小学生の調査内容は、国語、算数、理科の前学年までの内容です。本校は、学年による多少の違いはありますが、全体としては全国や県とほぼ同等の結果となっています。これは、学力向上への取組や家庭学習・自主学习等へのご家庭の協力等の成果と捉えております。

今後とも子どもたちの学力向上に努力していきたいと考えますので、皆様のお力添えをどうぞよろしくお願いいたします。

以下に結果の主なものを掲載いたします。

	4年	5年	6年
国語	◇平均正答率は、県をやや下回った。 ○漢字の読み書きの力は付いてきている。 ●物語文や説明文の要点を読み取ることや条件に基づいて書くことに課題が見られた。	◇平均正答率は、県をやや上回った。 ○登場人物の心情を想像して読んだり条件に基づいて文章を書いたりすることができる。 ●漢字の書き取りに課題が見られた。	◇平均正答率は、全国をやや上回った。 ○目的に応じて必要な情報を捉えることができている。 ●目的や意図に応じて考えを書いたり、接続詞を使って内容を分けて書くことに課題が見られた。
算数	◇平均正答率は、県をやや下回った。 ○基本的な計算は概ねできている。 ●時刻の経過の読み取り、身の回りのものの重さの単位、□を使った式の理解に課題が見られた。	◇平均正答率は、県とほぼ同程度であった。 ○倍とわり算の問題を表す図の構造を捉えることができている。 ●帯分数が入る分数の計算や大小関係、計算のきまりの理解に課題が見られた。	◇平均正答率は、全国とほぼ同程度であった。 ○グラフや複数の資料から数量の大小を判断することなどが理解できている。 ●示された図形の面積やわり算の意味を説明することに課題が見られた。
理科	◇平均正答率は、県を下回った。 ○観察、実験を通して体感したことは概ね定着している。 ●「風やゴムの働き」「物の重さ」「電気の通り道」等の実験結果から推測したりなぜそうなるのかを説明したりすることに課題が見られた。	◇平均正答率は、県とほぼ同程度であるが数値的にはわずかに上回った。 ○「動物の体のつくりと運動」「水のすがた」の理解が定着している。 ●物のあたたまり方、特に対流を整理して空気や水がどのようにあたたまるのかについて課題が見られた。	



これらの結果を受けて
以下のように取り組んでいきます。



<本校の重点的な取組の例>

	<4年>具体策	<5年>具体策	<6年>具体策
国語	・問題文を読み取る際に何を問われているのかについてしっかりと把握させるため問題文の要点を押さえる。	・国語辞典の活用、読書、短文を書く活動などを多く取り入れ、語彙を増やすことに努める。	・要旨をまとめる学習を取り入れる。テーマや条件を定めて文章を書く指導を行う。
算数	・朝の学習時間に既習事項の定着・習熟を図る。 ・場面を図に表して式を立てる活動に力を入れる。	・分数に関しての基本的な計算問題を繰り返し行い定着を図る。 ・記述式の問題を多く解く。	・問題文に関する読解力を高め、なぜそのような立式になるのか説明する場を多く取り入れるようにする。
理科	・実験の目的を明らかにし、予想、結果、考察のサイクルを丁寧に扱う。	・観察・実験や体験活動を重視し、実験結果の予想や実験方法を書くことに努める。	

東っ子の活躍

夏季休業に入ってすぐの7月23日(火)、市水泳記録会が行われました。今年度は天候不順の日が多く、現地練習を含めた事前練習があまりできない中での記録会当日となりましたが、参加した子どもたちの多くはこれまでの自己記録を更新することができました。個人種目2位をはじめとして女子団体リレーも5位入賞を果たし、力を出し切ることができたように思います。



犬伏東地区の子どもをみんなで育てる会

7月19日(金)に「犬伏東地区の子どもをみんなで育てる会」が開催されました。ご多用のところ、各町会長様、学校安全支援ボランティアの皆様、佐野警察署犬伏駐在所長様、犬伏東地区育成会長様、学校評議員の皆様、居場所づくり実行委員長様、PTA顧問及び本部役員、地区安全委員の皆様等、多数のご参加をいただきました。

冒頭に大室憲一会長からご挨拶があり、その後、昨今の子どもたちを取り巻く環境やその背景から、子どもたちの安全を確保するために協力していくことなどが話し合われました。

- ・登下校箇所には危険な場所も見られる(踏切、スピードを出す自動車・自転車等)。
- ・地域全体、ボランティア等で登下校時などに子どもを見守っている。
- ・見守りのパトロールが減っている現状があるがパトカー巡回が増えたのでありがたい。
- ・5時までに帰宅しないことがある。 ・帰宅しても家人がいない子どもも多い。
- ・列の乱れた登校班が見られた。 ・公園にコンクリート片が落ちていた。
- ・促されないといさつをしない子どももおり、個人差が大きい。
- ・横断歩道で停車してくれた自動車にお辞儀をする班は気持ちよい。
- ・下校時に途中から1人になってしまう子も見られる。
- ・学校が落ち着いている印象(立腰等)を受ける。 ・時折、不審な人物を見かける。
- ・オンラインゲーム利用上の問題 等々たくさんのご意見をありがとうございました。

スクールカウンセラーへのご相談

以前、教育相談室だよりでもご紹介したところですが、本校には今年度もスクールカウンセラーとして**鎌田明子先生**が勤務しています。長年の経験と専門的な知識をおもちです。お子さんのことや保護者の皆様のお悩みや不安、困りごとなどがございましたらいつでもまずはお気軽に学校までご連絡ください。相談内容等の秘密は厳守いたします。

【今後の予定】 各回とも13:40~16:40

9月19日(木) 10月10日(木) 11月7日(木) 12月12日(木)

1月16日(木) 2月13日(木) 3月5日(木)